

中間評価結果（平成 18、19 年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評 価
19-3	各種道路橋床版における疲労損傷の非破壊検査システムに関する研究開発	大阪大学大学院 教授 鎌田 敏郎	B
<p><研究の概要></p> <p>道路橋に主に使用されている鋼床版、RC 床版、合成床版に発生する疲労損傷において、現場での目視確認が困難なために問題となっている損傷を対象として、サーモグラフィによる赤外線撮影法（鋼床版）、衝撃弾性波法（RC 床版、合成床版）等、高精度で効率の高い床版種別ごとの非破壊検査システムを構築する。</p> <p><研究継続の妥当性評価></p> <p>研究の見通し、研究の進捗状況、ともに概ね良好であるが、非破壊検査システムの実構造物への適用性の向上に向けて、指摘事項に留意しながら、現行のとおり研究を推進することが妥当である。</p>			